

令和6年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 光輪会
なかよしこども園

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を目指します。

(1) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(2) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(3) 元気になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(4) 根気強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育方針・目標に沿った保育活動を行いながら、子ども中心に活動を展開し、新たに取り入れた活動を手探り状態ではあるが皆で意見を出し合い良い活動となるように進めていく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 教育・保育理念・方針の明文化と周知	入園説明会から、各行事の際に理念と方針のもと活動を展開していくことをご理解いただけるように繰り返しお伝えしていく。
② 認定こども園教育・保育要領への対応	子どもの主体的活動ができる環境作りに職員皆で意見を出し合い設定できるようにしていく。
③ 職員の資質・保育の質の向上	救命救急講習を年に一度必ず園内研修を行い、緊急事態に対処できる体制を整えていく。園外研修に参加した職員が研修内容等も開示していった。
④ 保幼小中の連携	学校訪問は、校庭・トイレ・保健室の見学や、1年生による学校案内なども体験させていただいた。実際の学校に行く体験は小学校を身近に感じられる良い機会であると感じている。小学校との連携も情報交換を密にしできる活動を今後も進めて参りたい。
⑤ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を継続して訓練していく。

⑥ 保育指導内容検討委員会	昨今不適切保育が報道され、色々な関心の対象となっている。保育指導内容を客観的に検討する、この委員会は中立性をもって、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図るとともに、言葉がけに関する意識を高めていく。
---------------	---

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

主体性保育をさらに徹底していくために園の活動行事の見直しを行った。子どもに指導し出来たことを発表するような活動から子どもの興味関心を引き出し、自分の行える興味のあることを保護者の皆様見ていただく、成長の機会を感じていただく活動に切り替えていった。子どもにも無理がなく、先生方も余裕をもって保育が行えるような活動を作り上げていきたい。

不適切保育や、危機管理の関しては職員会議や園内研修等でしっかりと職員間で情報の共有と自己管理について学んでいった。しっかりと自分の保育を振り返ることをするようにしてまいりたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	引き続き自分の保育の振り返りができる環境や、クラスの保育を確認し合える、関係誠意の構築や時間の確保に努めて参りたい。
教育・保育計画の編成	3施設の保育課程をさらに発展させ、光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。特に行事のボトムアップを行ってまいりたい。
教育・保育内容	今後の先を見越した受け入れを想定しながら0, 1歳児が共同で保育を行えるよう、ほふく室の環境の研究を行いながら安心感、愛着形成を満たす保育を充実させていく。幼児に関しては縦割り保育、アクティブラーニングの実践も浸透してきている。 出来る活動を積極的にどんどん増やししながら活動を展開して参りたい。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
3-①	行事ごとに理念や方針が達成できるような活動となっていると感じる。保護者の皆さんにも丁寧に伝えていくよう努めていると思う。
3-②	今年度から特に画像を登した情報開示が進んでいるように感じる。画面を通して行っている活動が開示されているため、内容がとても分かりやすくなったのではないだろうか。
3-③	事故、怪我がないように注意して教育保育が行われていると感じている。お預かりしている子ども達が日々安心した環境の中で成長できるよう、今後も対応していただきたい。

3-④	地域内の行事などにも積極的に参加され、こども達の発表の機会や活動の様子など近隣に分かるように努めている。近隣園も巻き込んだ公益的な取り組み、県域での活動などにも幅広く取り組まれている。学校とも連携を引き続き行って頂きたいです。
3-⑤	色々な事件や事故が起こっている。開放的な空間にすることも利用者の観点からは必要であるが、セキュリティーに関しては厳重に行っていただきたい。訓練等は見学する機会があったが、素晴らしい取り組みがなされていると感じる。
3-⑥	不適切保育や虐待ケースなど社会は良い活動よりも、悪い活動に目が行ってしまふ。一度悪い印象がついてしまふと払しょくするの大変な労力と時間が必要になります。そうならないようにしっかりとガバナンスの確保ができるような環境作りをお願い致します。

7、光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様にも光輪会の活動を、資料や写真等を使い活動の方法や内容等をお話ししご意見を頂いた。

少子化の進行がかなり進んできていることから今後の年齢ごとの受け入れの定員や職員の配置など先を見越した運営の検討をしていることが分かった。小学校も年々在籍生が少なくなっていることを聞くようになってきている。時代に合わせた検討をしていく必要もあると思うとの意見をいただいた。

公益活動に関してはとてもよく活動している。地域、市町村、県域と様々な活動を行ってとても良いと感じる。その中でも誰でも通制度などにも取り組む姿勢があり、保護者の皆さんに掘ってしていただける場所の提供を主とした考えであり、少子化のことも考えた対応であるとの評価もいただいた。

今後とも社会の情勢をしっかりと考え光輪会の進むべき方向を検討して行ってくださいとの言葉をいただいた。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

どの園も順調であった。和光なかよしこども園の借入金繰り上げ返済を行ったが、少子化もどうなっていくかわからないため、今後も数年ごとにまとめて返済して参りたい。

食育や子ども達の農園などの活動より進め、子どもたち自ら収穫、食育までつなげた生きる力を培う教育保育の実践を行ってまいりたい。

令和6年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 光輪会
第二なかよしこども園

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を目指します。

(5) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(6) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(7) 元気になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(8) 根気強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育方針・目標に沿った保育活動を行いながら、子ども中心に活動を展開し、新たに取り入れた活動を手探り状態ではあるが皆で意見を出し合い良い活動となるように進めていく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
⑦ 教育・保育理念・方針の明文化と周知	入園説明会から、各行事の際に理念と方針のもと活動を展開していくことをご理解いただけるように繰り返しお伝えしていく。
⑧ 認定こども園教育・保育要領への対応	子どもの主体的活動ができる環境作りに職員皆で意見を出し合い設定できるようにしていく。
⑨ 職員の資質・保育の質の向上	救命救急講習を年に一度必ず園内研修を行い、緊急事態に対処できる体制を整えていく。園外研修に参加した職員が研修内容等も開示していった。
⑩ 保幼小中の連携	学校訪問は、校庭・トイレ・保健室の見学や、1年生による学校案内なども体験させていただいた。実際の学校に行く体験は小学校を身近に感じられる良い機会であると感じている。小学校との連携も情報交換を密にしできる活動を今後も進めて参りたい。
⑪ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を継続して訓練していく。

⑫ 保育指導内容検討委員会	昨今不適切保育が報道され、色々な関心の対象となっている。保育指導内容を客観的に検討する、この委員会は中立性をもって、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図るとともに、言葉がけに関する意識を高めていく。
---------------	---

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

主体性保育をさらに徹底していくために園の活動行事の見直しを行った。子どもに指導し出来たことを発表するような活動から子どもの興味関心を引き出し、自分の行える興味のあることを保護者の皆様見ていただく、成長の機会を感じていただく活動に切り替えていった。子どもにも無理がなく、先生方も余裕をもって保育が行えるような活動を作り上げていきたい。

不適切保育や、危機管理の関しては職員会議や園内研修等でしっかりと職員間で情報の共有と自己管理について学んでいった。しっかりと自分の保育を振り返ることをするようにしてまいりたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	引き続き自分の保育の振り返りができる環境や、クラスの保育を確認し合える、関係誠意の構築や時間の確保に努めて参りたい。
教育・保育計画の編成	3施設の保育課程をさらに発展させ、光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。特に行事のボトムアップを行ってまいりたい。
教育・保育内容	今後の先を見越した受け入れを想定しながら0, 1歳児が共同で保育を行えるよう、ほふく室の環境の研究を行いながら安心感、愛着形成を満たす保育を充実させていく。幼児に関しては縦割り保育、アクティブラーニングの実践も浸透してきている。 出来る活動を積極的にどんどん増やししながら活動を展開して参りたい。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
3-①	行事ごとに理念や方針が達成できるような活動となっていると感じる。保護者の皆さんにも丁寧に伝えていくよう努めていると思う。
3-②	今年度から特に画像を登した情報開示が進んでいるように感じる。画面を通して行っている活動が開示されているため、内容がとても分かりやすくなったのではないだろうか。
3-③	事故、怪我がないように注意して教育保育が行われていると感じている。お預かりしている子ども達が日々安心した環境の中で成長できるよう、今後も対応していただきたい。

3-④	地域内の行事などにも積極的に参加され、こども達の発表の機会や活動の様子など近隣に分かるように努めている。近隣園も巻き込んだ公益的な取り組み、県域での活動などにも幅広く取り組まれている。学校とも連携を引き続き行って頂きたいです。
3-⑤	色々な事件や事故が起こっている。開放的な空間にすることも利用者の観点からは必要であるが、セキュリティーに関しては厳重に行っていただきたい。訓練等は見学する機会があったが、素晴らしい取り組みがなされていると感じる。
3-⑥	不適切保育や虐待ケースなど社会は良い活動よりも、悪い活動に目が行ってしまふ。一度悪い印象がついてしまふと払しょくするの大変な労力と時間が必要になります。そうならないようにしっかりとガバナンスの確保ができるような環境作りをお願い致します。

7、光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様にも光輪会の活動を、資料や写真等を使い活動の方法や内容等をお話ししご意見を頂いた。

少子化の進行がかなり進んできていることから今後の年齢ごとの受け入れの定員や職員の配置など先を見越した運営の検討をしていることが分かった。小学校も年々在学生在が少なくなっているという話を聞くようになってきている。時代に合わせた検討をしていく必要もあると思うとの意見をいただいた。

公益活動に関してはとてもよく活動している。地域、市町村、県域と様々な活動を行ってとても良いと感じる。その中でも誰でも通制度などにも取り組む姿勢があり、保護者の皆さんに掘ってしていただける場所の提供を主とした考えであり、少子化のことも考えた対応であるとの評価もいただいた。

今後とも社会の情勢をしっかりと考え光輪会の進むべき方向を検討して行ってくださいとの言葉をいただいた。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

どの園も順調であった。和光なかよしこども園の借入金繰り上げ返済を行ったが、少子化もどうなっていくかわからないため、今後も数年ごとにまとめて返済して参りたい。

食育や子ども達の農園などの活動より進め、子どもたち自ら収穫、食育までつなげた生きる力を培う教育保育の実践を行ってまいりたい。

令和6年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 光輪会
和光なかよしこども園

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を目指します。

(9) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(10) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(11) 元気になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(12) 根気強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育方針・目標に沿った保育活動を行いながら、子ども中心に活動を展開し、新たに取り入れた活動を手探り状態ではあるが皆で意見を出し合い良い活動となるように進めていく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
⑬ 教育・保育理念・方針の明文化と周知	入園説明会から、各行事の際に理念と方針のもと活動を展開していくことをご理解いただけるように繰り返しお伝えしていく。
⑭ 認定こども園教育・保育要領への対応	子どもの主体的活動ができる環境作りに職員皆で意見を出し合い設定できるようにしていく。
⑮ 職員の資質・保育の質の向上	救命救急講習を年に一度必ず園内研修を行い、緊急事態に対処できる体制を整えていく。園外研修に参加した職員が研修内容等も開示していった。
⑯ 保幼小中の連携	学校訪問は、校庭・トイレ・保健室の見学や、1年生による学校案内なども体験させていただいた。実際の学校に行く体験は小学校を身近に感じられる良い機会であると感じている。小学校との連携も情報交換を密にできる活動を今後も進めて参りたい。
⑰ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を継続して訓練していく。
⑱ 保育指導内容検討委員会	昨今不適切保育が報道され、色々な関心の対象となってい

	る。保育指導内容を客観的に検討する、この委員会は中立性をもって、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図るとともに、言葉がけに関する意識を高めていく。
--	---

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

主体性保育をさらに徹底していくために園の活動行事の見直しを行った。子どもに指導し出来たことを発表するような活動から子どもの興味関心を引き出し、自分の行える興味のあることを保護者の皆様見ていただく、成長の機会を感じていただく活動に切り替えていった。子どもにも無理がなく、先生方も余裕をもって保育が行えるような活動を作り上げていきたい。

不適切保育や、危機管理の関しては職員会議や園内研修等でしっかりと職員間で情報の共有と自己管理について学んでいった。しっかりと自分の保育を振り返ることをするようにしてまいりたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	引き続き自分の保育の振り返りができる環境や、クラスの保育を確認し合える、関係誠意の構築や時間の確保に努めて参りたい。
教育・保育計画の編成	3施設の保育課程をさらに発展させ、光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。特に行事のボトムアップを行ってまいりたい。
教育・保育内容	今後の先を見越した受け入れを想定しながら0, 1歳児が共同で保育を行えるよう、ほふく室の環境の研究を行いながら安心感、愛着形成を満たす保育を充実させていく。幼児に関しては縦割り保育、アクティブラーニングの実践も浸透してきている。 出来る活動を積極的にどんどん増やしながら活動を展開して参りたい。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
3-①	行事ごとに理念や方針が達成できるような活動となっていると感じる。保護者の皆さんにも丁寧に伝えていくよう努めていると思う。
3-②	今年度から特に画像を登した情報開示が進んでいるように感じる。画面を通して行っている活動が開示されているため、内容がとても分かりやすくなったのではないだろうか。
3-③	事故、怪我がないように注意して教育保育を行われていると感じている。お預かりしている子ども達が日々安心した環境の中で成長できるよう、今後も対応していただきたい。

3-④	地域内の行事などにも積極的に参加され、子ども達の発表の機会や活動の様子など近隣に分かるように努めている。近隣園も巻き込んだ公益的な取り組み、県域での活動などにも幅広く取り組まれている。学校とも連携を引き続き行って頂きたいです。
3-⑤	色々な事件や事故が起こっている。開放的な空間にすることも利用者の観点からは必要であるが、セキュリティーに関しては厳重に行っていただきたい。訓練等は見学する機会があったが、素晴らしい取り組みがなされていると感じる。
3-⑥	不適切保育や虐待ケースなど社会は良い活動よりも、悪い活動に目が行ってしまふ。一度悪い印象がついてしまふと払しょくするの大変な労力と時間が必要になります。そうならないようにしっかりとガバナンスの確保ができるような環境作りをお願い致します。

7、光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様にも光輪会の活動を、資料や写真等を使い活動の方法や内容等をお話ししご意見を頂いた。

少子化の進行がかなり進んできていることから今後の年齢ごとの受け入れの定員や職員の配置など先を見越した運営の検討をしていることが分かった。小学校も年々在学数が少なくなっていることを聞くようになってきている。時代に合わせた検討をしていく必要もあると思うとの意見をいただいた。

公益活動に関してはとてもよく活動している。地域、市町村、県域と様々な活動を行ってとても良いと感じる。その中でも誰でも通制度などにも取り組む姿勢があり、保護者の皆さんに掘ってしていただける場所の提供を主とした考えであり、少子化のことも考えた対応であるとの評価もいただいた。

今後とも社会の情勢をしっかりと考え光輪会の進むべき方向を検討して行ってくださいとの言葉をいただいた。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

どの園も順調であった。和光なかよしこども園の借入金繰り上げ返済を行ったが、少子化もどうなっていくかわからないため、今後も数年ごとにまとめて返済して参りたい。

食育や子ども達の農園などの活動より進め、子どもたち自ら収穫、食育までつなげた生きる力を培う教育保育の実践を行ってまいりたい。